

東京民医連

新潟中越地震支援ニュース

2004 年 10 月 25 日

No. 3

発行：東京民医連

新潟中越地震対策本部

電話：03-5978-2741

FAX：03-5978-2865

ながおか医療生協の仲間は、自ら困難な中で診療開始。

東京からの支援部隊 18 名は、昨日から支援を行っている、新潟、長野、富山、群馬、埼玉の仲間たちと合流し、避難所訪問や地域訪問を開始。

【現地速報（全日本民医連から）】

診療所、居宅介護事業所および地域は依然としてガス、水道が不通など不便な生活を強いられています。余震も頻発しており、雨も降ってきました。診療所は避難所としての役割も担っている様です。行政からは水、食料などの提供はあるものの不足しているとのこと。激震地となった小千谷などにも、ながおか医療生協の組合員さんがいる模様ですが、状況掌握には至っていません。

携帯ガス器具やカセットガスボンベ、カイロ、毛布などがあると助かるようです。

急いで人的支援の計画と募金活動を始めてください。

大田病院 新潟支援について昼休み緊急集会に50人!!

すでに、城南福祉グループから2名の職員が現地支援に入ったことの紹介と全日本民医連、東京民医連ニュースをもとに口頭で現地の状況を報告。さらに、午前10時30分の現地に到着した職員の声から「テレビ・新聞で知ること多いが、現地で目の当たりにする実態には差がある」ことなども報告し、引き続き、全日本・東京民医連の要請にこたえ募金・支援準備を進めることなどを確認しました。昨日行われた「品川・大田健康まつり」で、被災地へのカンパを行い30,573円寄せられました

東京民医連事務局大塚駅頭で街頭募金を訴え

東京民医連事務局は、25運動の一環として、本日午後1時から大塚駅頭で新潟中越地震被災地募金行動を行いました。緊急の行動提起でしたが、8名が参加、20分という短時間で12,656円のカンパが集まりました。小さな就学前の子供から高齢者までカンパに応じてくれました。

当面の支援について

- ① 人的支援を中心とした支援を行います。現地での活動は地域訪問での健康チェック、生活相談など。医師、看護師はじめ職種は問いません。できれば法人単位で医師・看護婦・運転者のセットで支援をくんで頂くとスムーズに支援体制が組めます。
- ② 支援物資を受け付けます。物資は、毛布、携帯ガス器具、ガスボンベ、水、カイロ、など。支援物資は当面「長野医療生協」に集中し現地に搬入します。直接、長野医療生協に送ってください。
東京民医連が24日送った支援物資一覧表を添付しますので参考にしてください。病院などでは基準寝具の業者に毛布を安く譲ってもらうとか、カンパしてもらうなど工夫してみてください。

名称：長野医療生活協同組合

住所：〒380-0814 長野県長野市西鶴賀町1570 TEL 026-234-1476

- ③ 引き続き被災地支援カンパに取り組んでください。

振込み方法 郵便振替 払込扱票 振込先 00140-5-95448

加入者名 東京民医連 * 通信欄に新潟中越地震募金と記載ください。

東京民主医療機関連合会 豊島区南大塚 2-33-10 TEL 03-5978-2741

☆ 法人・院所で「人的支援」や「車の配車」が

可能な時は別紙の表に記入の上、東京民医連までFaxしてください。

“困難あるところに、民医連あり” とともに頑張りましょう